

集会アピール

地域医療・障害者医療・政策医療に必要な 公立・公的病院の再編統合を中止させよう

厚生労働省は2019年9月26日、再編・統合の必要性があるとして全国424の公立・公的病院等の名称を公表し、「再検証」を求めてきました。県内では、すでに「地域医療構想をふまえた公的医療機関2025プラン」が承認されている13病院が公表されました。

公表された病院はどの病院も地域医療、政策医療、障害者医療にとってなくてはならない病院であり、今回の厚生労働省の一方的な公表は断じて認めるわけにはいきません。

県の説明では、国は「構想区域地域医療構想調整会議」において協議し、再編統合を伴わない場合は本年3月末まで、再編統合を伴う場合は9月末までに一定の結論を得ることを要請しています。

過去の統廃合反対運動の経験からも、再編統合案が決定される前に運動を広げることが、国の強行を阻止することにつながります。

こうした緊急の情勢を受けて、公表された再検証対象の県内13の公立・公的医療機関を引き続き存続していくことを世論に訴えていくため、本日の集会を開催しました。集会では以下の点を決議します。

一つ 厚生労働省が再検証によって機能縮小・統合再編を求めていることに対して、県内13病院の公的医療機関「2025プラン」の再承認を要求します。

一つ 今後、民間医療機関に対する「対応方針」策定の際には、今回のように地域医療や医療内容の特殊性を考慮せずに再編統合病院名を公表するようなことはしないよう要求します。

一つ 今回の再検証病院の公表に対して、医療・福祉従事者が、労働組合・労働者代表、患者・家族、各団体関係者、地域住民などと幅広く連帯し、公的医療を守る運動の先頭にたってアピールしていくことを表明します。

以上決議します。

2020年1月18日

公立・公的病院を守る福岡県医療・福祉従事者決起集会